



vol.174  
2024  
7月発行

■発行  
社会福祉法人 幕別町社会福祉協議会  
幕別町新町122番地の1 TEL0155-55-3800

# 市民後見人 養成研修 受講者募集中

令和6年度

幕別町では、認知症や知的・精神障がい等により、判断能力が十分でない方の権利を守るために、財産管理や日常生活でのさまざまな契約等の後見業務を行なうことができる知識・技量を備えた「市民後見人」を養成する研修を開催いたします。

● 研修日程  
8月22日(木)～10月3日(木)の  
毎週木曜日 全7回 13時から17時までを予定



- 会 場: 第1回～第5回／音更町総合福祉センター(音更町大通11丁目1)  
第6回／幕別町役場(幕別町本町130番地1)  
第7回／幕別町保健福祉センター(幕別町新町122番地の1)
- 対 象 者: ①研修終了予定日において、満25歳以上で、現に幕別町に居住する者  
②これまでに未成年後見人、成年後見人、保佐人、補助人を解任されたことがない者  
③破産していない者  
④幕別町市民後見人養成研修を修了されていない者  
⑤原則としてすべての研修カリキュラムを受講できる見込みがある者
- 申込方法: 「市民後見人養成研修受講申込書」に必要事項を記載し、写真(縦3cm×横2.5cm・裏面に記名)を貼付したものを、幕別町社会福祉協議会まで郵送又は持参すること。
- 募集期間: 7月1日(月)～26日(金)(必着)
- 定 員: 10名(申込先着順で、定員になり次第、締め切らせていただきます。)
- 受 講 料: 無料 但し、教科書代(2,277円)受講者負担

★募集要項・申込書等は、幕別町社会福祉協議会窓口、幕別町役場、札内支所、ふれあいセンター福寿などでお受け取りできます。

# 令和5年度 幕別町社会福祉協議会事業・決算報告

## 事業総括

新型コロナウイルスが5類に引き下げられ、この約1年間で社会は平常時の日常に戻りつつありますが、コロナ禍により私たちは意識も含めてライフスタイルが変化しており、本会の事業活動においても、コロナ禍前と同じでよいとの考えは通用しなくなると思われます。

また、本会の集いの場を目的とした事業では、フレイルの影響によると思われますが、利用者の中で介護サービスを利用される方が増え、事業の利用者数が減少しております。地域サロンやボランティア等のグループでは、コロナ禍による活動の休止や縮小が一因となり、閉塞感やモチベーションの低下により解散された所があるなど、事業活動を行う中でコロナ禍の後遺症とも言えるような状況が散見されました。

終わりに、「ともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくり」を基本目標とする「第5期地域福祉実践計画」を踏まえながら事業を実施いたしましたので、以下、令和5年度の事業報告をいたします。

## ■ 地域のつながりづくり、支え合いづくり

### ■ 町民カフェMOCO



町民が気軽に交流し、顔の見える関係づくりやみんなで食事をすることの楽しさを共有することを目的に、5月から11月まで月1回開催しました。

### ■ 農園サロンの開設



体を動かしながら地域住民の交流を深めることを目的に、屋外サロンとして「ふれあい農園ゆたか」を開催しました。

### ■ 地域サロン新規開設支援



地域の新たなつながりや顔の見える関係づくりを目的に、地域サロンの新規開設を支援しました。

### ■ あつたかつながり発表会



地域の中にある小さな支え合いやつながりを発表してもらい、町民全体で共有する発表会です。今年は発表会に加えて参加者全員で茶話会も実施しました。

## 忠類つながりLaboの開催



参加者18名

令和4年度に開催した「忠類の魅力を語っちゃおう座談会」の続きとして、身近な地域のあり方や未来について気軽に語らえる場を開催しました。

## 地域ふれあい用具の貸し出し



貸出件数344件

町内会などの地域交流の活性化のために、レクリエーション用具や綿あめ機などのイベント用品の貸し出しを行いました。

## 生活がお困りの方、判断能力に不安のある方のサポート

成年後見センター「まくさぼ」では、認知症、知的・精神障がいなどにより、判断能力が十分でなくなても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、成年後見制度や日常生活自立支援事業を活用して生活をお手伝いしています。

### ◎総合相談事業

生活資金、成年後見など 64件

### ◎日常生活自立支援事業

契約者3名 生活支援員登録者18名

### ◎法人後見事業

法人後見受任10名 法人後見支援員登録者22名

### ◎福祉金庫貸付事業

貸付件数5件

## デイサービスセンターの運営

介護予防や介護保険の通所介護事業として、令和5年度も入浴サービスやレクリエーション等に加え、専門員による機能回復訓練やセンター内のウォーキングを行いました。

● 延べ利用者数 5,799名

● 一日平均利用者数 19.8名

## CAFEノンノの運営

障がい者の中間的就労の場と地域住民の気軽な交流拠点づくりを目的に、札内コミュニティプラザに喫茶「CAFEノンノ」を運営しています。

● 延べ利用者数5,317名

## 高齢者の生きがいづくりと就労の場

高齢者就労センターでは、概ね60歳以上の会員の方へ町内の公共事業や一般家庭から受けたお仕事を紹介しています。

民間事業861件、公共事業123件の業務を受注しました。

## 幕別町からの委託事業

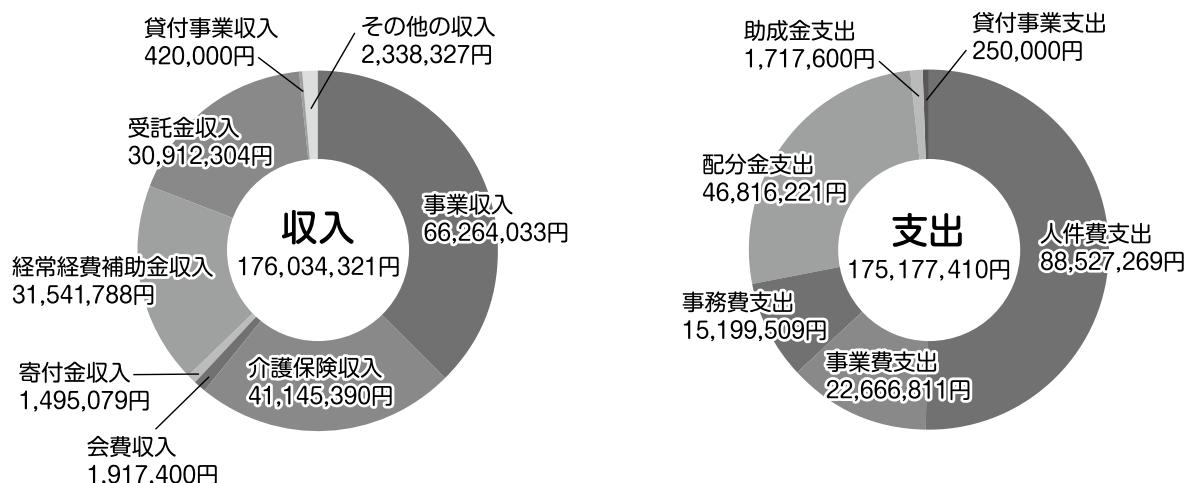
### ◎外出支援サービス事業

公共交通機関での外出が困難な高齢者の方を対象に、病院等へ1,410回送迎を行いました。

### ◎生きがい活動支援通所事業

通所型の介護保険を利用してない高齢者の方を対象に、各地の近隣センターにて健康体操教室などを開催し、延べ1,108名の参加がありました。

## ■ 資金収支の状況



## ■ 貸借対照表

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額(円)	勘定科目	金額(円)
<b>流動資産</b>	<b>47,029,566</b>	<b>流動負債</b>	<b>17,154,661</b>
現金預金	38,175,782	事業未払金	11,180,300
事業未収金	8,853,784	未払費用	4,501,931
		預り金	22,572
		職員預り金	1,499,858
		<b>固定負債</b>	<b>16,822,640</b>
		退職給与引当金	16,822,640
<b>固定資産</b>	<b>137,791,253</b>	<b>負債の部合計</b>	<b>33,977,301</b>
<b>基本財産</b>	<b>2,000,000</b>	<b>純資産の部</b>	
基本財産特定預金	2,000,000	<b>基金</b>	<b>2,000,000</b>
<b>その他の固定資産</b>	<b>135,791,253</b>	基金	97,286,645
機械及び装置	235,424	福祉基金	47,656,548
車輛運搬具	524,782	介護保険事業等経営安定化基金	49,630,097
器具及び備品	496,042	国庫補助金等特別積立金	80,993
権利	216,000	国庫補助金等特別積立金	80,993
ソフトウェア	144,720	<b>次期繰越活動収支差額</b>	<b>51,475,880</b>
投資有価証券	20,000,000	次期繰越活動収支差額	51,475,880
福祉金庫貸付金	65,000	(うち当期繰越活動収支差額)	△8,310,245
退職共済引当資産	16,822,640		
福祉基金積立資産	47,656,548		
介護保険事業積立金	49,630,097		
		<b>純資産の部合計</b>	<b>150,843,518</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>184,820,819</b>	<b>負債・純資産の部合計</b>	<b>184,820,819</b>

## ■ 決算報告書の詳細は、社協ホームページをご覧ください

幕別町社会福祉協議会ホームページでは、令和5年度決算の詳細をご覧いただくことができます。  
その他、Facebookページのリンクもございますので、ぜひご覧ください。

パソコンからは→<https://maku294.jp/>

スマホからはこちら→



# 令和6年度 社協会員への加入をお願いします

## ~誰もが安心して暮らせるまちづくりのために~

社会福祉協議会は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを目指しています。昨年度は、1,917,400円もの会費を皆様からいただき、13の事業を行うことができました。皆様のあたたかいご協力に心より感謝申し上げます。

今年度も引き続き、社協の活動の趣旨をご理解いただき、会員へのご加入をお願いいたします。

### 一般会員/目安一世帯 500円

※1,000円以上の場合は特別会員として区分させていただきます。

★7月に町内会を通じてお願いをしております。  
会費の主旨や使いみちにつきましては、7月の  
町内会回覧をご覧ください。

### 令和5年度社協会費の主な使いみち

#### 地域ふれあいサロン 支援事業



地域の方が気軽に集う場所である地域サロンの活動支援と保険料の助成費用として

#### つながり チャレンジ事業



地域のつながりを生むこれまでにない新たな事業への活動支援として

#### 町民カフェ MOCO



地域の顔の見える関係づくりを目的とした町民カフェ MOCOの開催費用として

#### ふまねっと サロン



幕別北コミセン、保健福祉センターにて開催しているふまねっとサロンの開催費用として



赤い羽根共同募金presents

## つながりチャレンジ事業 助成団体募集



幕別町共同募金委員会では「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指して、新たな「つながり」をつくる活動に対し、公募による助成を始めます。

#### 事業例

- 新たな居場所づくりを行う事業
- 多世代交流等を行う事業
- 人と人との新たなつながりを生む事業
- 現在行っている事業に加えて、新たなつながり、広がりのための事業

■応募期間／7月1日～11月30日 ■助成額／1事業5万円まで ■助成対象／幕別町内で活動するグループや団体  
■その他／詳しい情報につきましては、下記までお問い合わせください。

#### ●お問い合わせ

幕別町社会福祉協議会 ☎ (0155) 55-3800 FAX(0155) 55-2115

# 社会福祉協議会からのお知らせ

## 町民カフェMOCO

～ボランティアによる地域の居場所作り～

令和6年7月～9月までの「町民カフェMOCO」のご案内です。お友達やご家族と一緒にお茶を飲み、お食事をしながら、楽しいひと時を過ごしませんか。皆様の来場、心よりお待ちしております。



**開催日** 毎月第4木曜日

- 7/25(木) 担当団体…カフェMOCOセンター
- 8/22(木) 担当団体…カフェMOCOセンター
- 9/26(木) 担当団体…カフェMOCOセンター

**時 間** 11:00～13:00

**場 所** 幕別町保健福祉センター(新町122-1)

## ふれあい農園サロン ゆたか

青空のもと畑でいろいろな農作物を育てながらサロン活動をしています。農作業を通して楽しく交流してみませんか。



**【活動予定】**

**開催日** 土曜日(月2回～3回程度)

**場 所** 幕別町札内豊町

**時 間** 午前中(2時間程度)

**持ち物** 動きやすく汚れてもよい服装、飲み物、タオル等

## ふまねっとサロン

床に敷いたネットを様々なステップで歩く軽い運動です。参加者のみなさんと一緒に楽し<／＼活動してみませんか。



**【令和6年7月から9月の予定】**

**開催日** 第2金曜日▶幕別北コミュニティセンター

第3金曜日▶幕別町保健福祉センター

※幕別南コミュニティセンターに変更の場合あり

**時 間** 13:30～15:00(茶話会は行いません)

**持ち物** 水分補給のための飲み物、タオル、上靴(幕別北、南コミセンにて使用)

## 子どもたちと一緒に 保健福祉センター花壇整備

青空の下、子ども達と一緒に花壇整備をしながら、楽しく交流してみませんか。終わった後は、ちょっとした茶話会でホッと一息。



**【活動予定】**

**開催日** 令和6年7月30日(火)／8月23日(金)

**場 所** 幕別町保健福祉センター内

**時 間** 午前9時30分～花壇整備後に茶話会

**持ち物** 動きやすく汚れてもよい服装、軍手、飲み物、タオル等

## 7月1日より販売開始!ご当地ピンバッジ 「パオくんとクマゲラくん」with芝桜

数ある公募の中から、有馬 凪咲さん(小学校2年生)がデザインした「パオくんとクマゲラくん」、町花の「芝桜」と「赤い羽根」のコラボです。

500円のうち約250円が募金となり、町内の団体や学校等で使われます。とても可愛いデザインになりましたので、是非購入してください(^▽^)/

**【取り扱い】**

①幕別町社会福祉協議会 ※幕別町保健福祉センター内 ②café NONNO(ノンノ) ※札内コミュニティプラザ内

③町内のイベント(夏フェスタや産業まつり等)

1個 500円  
寄付金付き



## 令和5年度 募金実績追加報告

前回(173号)掲載できなかった実績の追加報告です。  
ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

▶ 赤い羽根共同募金及び歳末募金  
西町1

●お問い合わせ／幕別町共同募金委員会(幕別町社会福祉協議会内) ☎ (0155)55-3800 FAX(0155)55-2115

## 新しい職員が入職しました!!

4月から入職しました職員を紹介いたします。担当事業で皆さんにお会いする機会があると思いますので、どうぞよろしくお願いします。

皆さんと一緒に  
楽しくたくさん笑えるような  
活動を取り入れていきたいと思います。  
皆さんのご参加お待ちしています。



いきいきエンジョイ教室・お元気ですか訪問担当  
上原 真由美

送迎運転手の杉本です。  
利用される皆さんを安全に送迎するよう  
努めます。よろしくお願いします。



外出支援サービス担当  
杉本 友之

## 第1回 幕別町在宅介護者の集い

日頃より自宅でご家族を介護されている皆様の気分転換、情報交換や交流を目的とし、今後の介護に少しでもお役立ていただきたいと、下記のとおり企画しました。参加をお待ちしています。

開催日 7月26日(金)

時 間 8:15～15:30 ※忠類発着予定時刻

見 学 帯広動物園

食 事 寿司御膳「寿司の巻平」

買 物 MEGAドン・キホーテ西帯広店

対 象 在宅で介護をされている方（町民限定20名）

料 金 無料

申 込 7月12日(金)までにご連絡ください。

※申し込みの際、名前、住所、電話番号をお知らせください。

その他 バス時間等、詳細は、お問い合わせください。

## 就労センター剪定・草刈会員募集

### ○剪定/伐採会員

剪定ができる会員が不足しています。作業依頼の問い合わせが多く、夏季期間は安定した仕事が見込めます。



### ○草刈会員(刈払機使用)

こちらも刈払機や機械による公園や空き地の作業依頼が増えています。未経験の方には丁寧に安全な使用方法を指導いたします。



経験・未経験は問いません。作業が好きな方、地域に貢献したい方、前職を活かしたい方、情熱がある方、お気軽にお問い合わせください。

## 社会福祉協議会へご寄付をいただき誠にありがとうございます

皆様からいただきましたご寄付は、集いの場づくりやボランティア活動支援、新たな住民つながり活動支援など、幅広い事業で活用しております。これまでにもイベントや記念事業、香典のお返しの中からなど、様々な場面で皆様からご厚意を寄せていただいておりますが、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

### ●寄付金 (令和6年3月2日～令和6年5月31日) ※順不同、敬称略

日付	寄付者名
3/4	マクベツツナグランタン実行委員会

日付	寄付者名
3/14	増田 萬里子

### ●物品 (令和6年3月2日～令和6年5月31日) ※順不同、敬称略

日付	寄付者名	物品名
4/11	クマゲラサークル	リングブル

### ●各種お問い合わせ

幕別町社会福祉協議会 ☎ (0155)55-3800 FAX(0155)55-2115

# まちびと通信 増刊号

●発行日／2024年7月

●発行元／幕別町社会福祉協議会

幕別町新町1-22番地の1(幕別町保健福祉センター内)

## 地域連携マイプロジェクト 『高校生サロンを作ろう!』

### 高校生が『学ぶ』-

てた高校生も次第に会話が弾むようになり、「交流できて楽しかった!」「高齢者は思つたより元気だし、動ける!」「よく笑って、よく話す!」など、初めての体験に感想が溢れました。



地域で活動する高齢者へインタビュー  
「元気の秘訣はですか?」「散歩・しゃべる・食べる!」



サロンのみなさんが歌った  
「富士山(ふじの山)」高校生には新曲でした  
和っ家サロン(寿町)

幕別清陵高等学校では、総合的な探究の授業として、生徒が地域企業や団体などと一緒に協働しながら、建築やアート、農業や工業など、様々な分野の学びを深める地域連携マイプロジェクトに取り組んでいます。

幕別社協では第2学年の冬の生徒さんと一緒に、高齢者や地域のみなさんと交流するといったつながりの大さを学び、若い世代として感じる支え合いで、広く住民のみなさんと共有する取り組みを進めています。

### 高校生が『体験する』-

「つながりや支え合いで地域の大好きなの?」「集まつて何をしてる?」「何歳からが高齢者なんだの?」。高校生の『知りたいこと』を出し合の中で、歳を重ねていくことやその生活や地域の中で人と人との支え合いでつながることになりました。学習が進むにつれての思いは趣り、高校生でサロンを作つてみたら』とこの目標に向かってスタートを切ることになりました。

サロンに来てくるみなさまも「高校生が高齢者の活動に興味を持ってくれて嬉しい」「若い人と話すと元気が出る」など、孫ほど歳の離れた高校生との交流を楽しんでいました。



優しい会話でリラックス  
「またサロンに遊びに来てね」  
若草ふれあいサロン(若草町)



2チームに分かれフロアカーリングで交流  
「若い子はやっぱり上手いわね」  
若草ふれあいサロン(若草町)

サロン訪問は、つながりや支え合いで、高齢になった生活にはひとのほか大切なことを、若い世代として実感する貴重な機会となりました。

### 高校生が『作る』-

サロン体験の学習が積み重なつて、高校生として考える『人が集いふれあう場』の準備が進んでいます。6回のお試しサロンを経て、9月と10月に高校生が主催するサロンを開催するようになりました。別途ご案内させていただきますので、みなさんのが参加をお待ちしています。

プロジェクトを通した地域のみなさんとの交流は、高校生にとって、幅広い世代や様々な分野の人々と交わることで、温かな人間性を育む大切な機会になりました。これからもまちびと翼を担う高校生に、地域からも温かく応援を送つてきましょ。



みなさんに歓迎していただきました  
あさひまちサロン(旭町)